

一関市入札制度等改革本部を本日付けで設置することとしました。

今日は、その初回の会合であります。私から簡単に4点ほど申し上げます。

まず1点目であります。先の議会においても申し上げましたが、今一関市役所は、非常事態にあるとそのように認識をしています。従って、一連の改革をしていかなければならない。それが、改革本部の設置の目的であり、理由であります。

被疑事件の核心部分は、今捜査の途上にありますので、我々は被疑事件の核心に至る所はわかりません。

しかしそれを待たずして、我々としてできることはあるはずであります。また、そういった一連の改革はすぐにでも始めなくてはならない。従って、本日の設置とした次第であります。

2点目です。この本部が所掌していく事務は大きく3点あります。

一つは、職員における法令遵守の確立に関すること。

二つ目は、入札事務の見直し及び改善に係る調査、検討に関すること。当然これは見直し案の立案まで含んでいます。

三つ目は、その他不適切な入札の排除に関することであります。これは、後ほど会議資料にあります本部の設置の所掌事務にあります。

この三つについて、徹底的にやっていくということであります。

また、記載してはありませんが、四つ目がございます。それは、職員のモチベーション、あるいは組織としてのモチベーションの維持向上であります。こうした中において、職員個々が本来の力を発揮して、きちんとした仕事をしていくということが、我々に求められていますので、そのことが、四つ目の所掌事務であります。

3点目であります。こうした不祥事があると、再発防止に努めていくとか、再発防止を図っていくとかそういったようなことを言うわけであります。当然我々もそのことにあるのですが、この再発防止というものは、私が思うには、やろうと思ってもできない状態に、やろうと思ってもできないような組み立て、そういうシステムにすることが本当の再発防止だと思っています。つまり、関係する人間同士で、頑張りましょうとか、気をつけましょうとか、注意しましょうとかというレベルではなくて、性善説に立たないということがあります。ただし、入札というものを一連の流れで言えば、例えばでありますけれども、予算化があつて、工事であれば設計があつて、資格審査があつて、それに基づいて入札を執行すると。それぞれの部署を切り離して、それぞれが牽制し合うような、介入でき

ないようなことにはなっていますが、しかし、そこには必ず職員が介在しています。

これを例えば、AIがやったとか、外部委託したとかといっても、どこかに必ず人が介在しますので、完全にやれないようにするということは難しいのですが、そこに私どもは切り込んでいかなければいけないということがあります。

これはビフォーの話です。もう一点アフターがあります。

つまり、やれば必ずばれるというようなもの、これも再発防止の一つの工夫だと思っています。そのビフォーとアフターの二つの段階で事務の改革をしていきたいということがあります。

そうは言うものの、都道府県、市町村、各官公庁を入れれば、2,000ほどの団体組織が入札ということをやっています。その中で、改善点はあると思います。そういったことは、私どもとしてもリサーチはしているのですけれども、何かの改善点は必ずあるはずですので、それをやっていくということでもあります。

入札事務の具体的にどこをどうというのは難しいのですが、かつて我々は、例えば、決算書の間違いが連続したようなことを経験しました。あの際にも、皆さんがいろいろと工夫をして、ゼロベースから見直して、きちんとした結論、結果、ゴールにたどり着いた、そういったような経験があります。そうしたことからすれば、皆さんは仕事をしていく上でのプロでありますので、プロの力を結集して、この難題に立ち向かっていくことが欲しいと思っています。

もう一点、これは内部からも逮捕者が出ました。従って、我々自身の手だけでは限界があるし、それが本当の答えではないとなりますから、専門的かつ外部からの目が欲しいと思っています。今日の会議の中でも話をいたしますけれども、外部委員を設けて、外の目線からのチェック、しかも専門的な立場からのチェックを入れながら、我々として改革案を練り上げていく、実行していくことと考えています。それが4点目であります。

以上4点申し上げました。私どもがやっていくべきことは、先般、議場で申し上げましたが、市民の信頼の上に立ってしっかりとした成果、結果を出していくことでもあります。ですから、本部としての所掌事務は、資料に記載されている3点と、職員のモチベーション、組織のモチベーションの4点であります。きちんとした結果を出していくといったところに最終的なゴールだと思って、これからの取り組みを担っていただきたいに思います。

私からは、以上となります。